

第2回

奈良・長谷川テル顕彰の会総会報告集



長谷川テルの「記念碑」建立場所を見学を訪れた顕彰の会の一行。
工藤良任住職（中央の法衣姿の人）を囲んで、般若寺境内にて。
2020年11月8日

2020年11月30日

奈良・長谷川テル顕彰の会

目次

- 1 長谷川テル記念碑建立へ力を合わせ頑張ろう・・・・・・・・・・ 3 ページ
- 2 般若寺にとっても近代の歴史を象徴する長谷川テルさんの記念碑
・・・・・・・・ 4 ページ
- 3 第2回奈良・長谷川テル顕彰の会総会のご案内・・・・・・・・ 5 ページ
- 4 第2回 奈良・長谷川テル顕彰の会総会 ごあいさつ・・・・・・・・ 6 ページ
- 5 第2回奈良・長谷川テル顕彰の会総会への報告と提案・・・・ 7 ページ
- 6 奈良・長谷川テル顕彰の会会則・・・・・・・・・・・・・・・・ 9 ページ
- 7 第2回奈良・長谷川テル顕彰の会総会に
寄せられたメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・ 10 ページ
- 8 「記念碑」「説明板」のエスペラント訳・・・・・・・・・・ 15 ページ
- 9 総会のまとめ
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16 ページ



**奈良・長谷川テル顕彰の会後、テルの記念碑建立の場所の
見学に訪れた顕彰の会の一行。
コスモス満開の般若寺境内で。2020年11月8日**

長谷川テル記念碑建立へ力を合わせがんばろう

－第2回奈良・長谷川テル顕彰の会総会で確認－



挨拶する宮城会長

11月8日、第2回奈良・長谷川テル顕彰の会総会が奈良市中部公民館で開かれ、長谷川テルの「記念碑」を般若寺境内に建立することなど決定しました。

同会会長の宮城恭子氏は主催者を代表して、「テルさんが、中国にわたり、日本人女性として勇気をもって、日本軍兵士に反戦平和を訴え続けた偉大な事績を顕彰する運動は、大きく広がりつつあります。奈良の古刹般若寺境内に長谷川テルの記念碑を実現するために力を合わせ頑張りましょう」と、あいさつしました。

総会では、「エスペランチストとして抗日反戦を訴え続けた長谷川テルの事績を調査・研究・顕彰することは、日中不再戦の誓いを固め、北東アジアの平和の確立の運動に貢献する」、とする顕彰事業の意義、「記念碑」と「説明板」の製作のため200万円の募金をつのることなど、田辺実同会事務局長が行った「報告と提案」を参加者の拍手で確認・決定しました。

総会終了後 般若寺を訪問、工藤良任住職のあいさつを受ける

総会には、来賓として、大阪・長谷川テル顕彰の会から平松悦雄さん、『松花江の流れのように』の著者・内藤玲子さんが来賓としてあいさつ。『長谷川テル作品集』を編集した宮本正男さんの息子さんの宮本義人さん、書作家の井口和子さん、関西エスペラント連盟前理事長の田熊健二さんらも発言しました。

総会では、菅政権の日本学術会議の6名の任命拒否を厳しく批判する発言もあり、長谷川テルが、治安維持法で弾圧され奈良女子高等師範学校から退学処分を受けたような、抑圧的で閉塞的な社会再来を許さないためにも、長谷川テルの思想と闘いに学び私たちの運動に生かすことを誓いあいました。

総会には30名が参加。オープニングは、奈良蟻の会合唱団の「希望の鳩ヴェルダマールヨ-長谷川テルの歌」をDVDで鑑賞。

越山のぶ子実行委員が総会の議長をつとめ、西久美子実行委員が「会計報告」、福嶋繁男実行委員が「会計監査報告」を行いました。

総会后、27名が長谷川テルの記念碑を建立する般若寺を訪問し、設置場所の前で、宮城会長の説明を聞き、工藤良任住職の挨拶を受け、住職を囲んで集合写真を撮りました。

第2回奈良・長谷川テル顕彰の会総会終了後、長谷川テルの「記念碑」と「説明板」の設置場所の見学のため、総会参加者一行27名が般若寺の境内を訪れました。設置場所前で、宮城恭子会長から説明を受けました。その時、たまたま西大寺（真言律宗本山）での法務を終えて帰山された工藤良任師が見学者を前に要旨次のように挨拶されました。

長谷川テルが友人と訪ねられたころは無住寺でした

般若寺の住職・工藤良任師

般若寺の住職・工藤良任です。

今日は、沢山の方が来ていただいて盛会ですね。

長谷川テルさんについては、この間から田辺さんから紹介されてきました。

初め、「記念碑」の設置場所は駐車場の方を考えていましたが、車が普段から出入りするの、今は裏の方になっていますが横にお地蔵さんもあり、ここがいいかなと思います。

この近くに旧奈良監獄がありましてね、そんな関係



挨拶される工藤良任師



工藤良任師の挨拶を受ける顕彰の会の一行

で沢山の方が般若寺を訪ねてこられます。

長谷川テルさんは学生時代に友達と般若寺を尋ねられたようです。長谷川テルさんが訪れた時、般若寺はほぼ無住のころでした。父がここに来たのは昭和17年か18年（1942年か1943年）でした。当時は戦争の最中

で、お坊さんも徴用工として軍事工場に引っ張られて戦闘機を

造らされていました。兵隊にとられた人も沢山いました。そんなこともあり、無住になっていました。

般若寺には文化財が沢山あり、有名な方も訪れていました。森鷗外さんとか、正岡子規さんも訪れています。そういう場所であり、長谷川テルさんも訪ねてこられたのだと思います。

くわしいことは、これから勉強したいと思っています。

(一同 ありがとうございます。)

第2回奈良・長谷川テル顕彰の会総会のご案内

長谷川テル顕彰事業に心を寄せていただいている皆さん

エスペランチスト・長谷川テルさんが、奈良女子高等師範学校の4年生の時に、治安維持法で弾圧され、同校を退学処分されてから今年で88年、中国ジャムスで逝去されてから73年になります。戦時下の中国で日本人女性として、抗日反戦を訴え続けたテルさんの輝かしい事績を顕彰し、今日の運動に生かすことは、日中不再戦、市民レベルの日中友好運動の促進にとって大きな意義があると確信いたします。

つきましては、第2回奈良・長谷川テル顕彰の会総会を左記の通り開催いたします。

ぜひ、ご参加いただくようご案内申し上げます。

記

と き 11月8日(日) 午後2時～午後3時半

と ころ 奈良市中部公民館

(奈良市上三条町23-4 0742・26・6506 近鉄奈良駅下車4番出口 徒歩5分)

内 容 ・長谷川テル顕彰碑の実現を目指す方針の検討

(「碑文」案等は「別紙」参照)

- ・顕彰の会会則の一部改正について
- ・総会后、希望者を募って般若寺を訪問、顕彰碑建立場所を見学。

(一人、500円の拝観料をお願いいたします。)

参加お申し込みは、はがき、ファックス、メールのいずれかにて「事務局」までお願いいたします。10月31日までをお願いいたします。

2020年10月15日

奈良・長谷川テル顕彰の会
会 長 宮城 恭子
事務局長 田 辺 実

第2回 奈良・長谷川テル顕彰の会総会 ごあいさつ

2020年11月8日 宮城 恭子

コロナ禍のさなか、11月の日曜日、貴重な時間を第2回奈良・長谷川テル顕彰の会総会へお越しいただきありがとうございます。

コロナ禍で世界中の人々が命と暮らしを守るために奮闘しています。1日に200円未満で暮らす人々が4億人増加し、10億人に達したと聞いています。

日本でも感染者数が増えています。2000年老人保健法が施行され、小泉内閣の医療改革の中で、医療保険料金の引き上げ、窓口負担の引き上げ、高齢者の窓口負担の導入・引き上げ、診療報酬の連続引き下げ、入院期間の制限など。

医療機関は患者さんとともに奈落の底へ突き落とされました。保健所法も改悪され、保健所の数は847から469に減少、感染症ベッドは1万床から1882床にまで減少する中でのCOVID19の襲来です。

一昨日テレビの国会中継を見て、この国の総理は日本語のやり取りに相当な困難があると推察しました。国民の生活がわかっていない、私たちが長年かかって手に入れた、民主主義、自由と平和を絶対手放さない、安心して笑って生活できる安全な生活を願っていることを知らない、ある意味宇宙人と思いました。

世界に対し軍事も辞さない、自画自賛自国ファーストではなく、理性と国際連帯に根差した、命と暮らしを守る、信頼と良識に満ちた平和な世界の実現に努力する政府を望みます。

長谷川テルさん顕彰の会は、「ヴェルダ・マーヨ通信」でご承知いただいておりますが、驚くほど運動のすそ野は広がり、枝葉を出し、豊かな未来を予感させています。しかし、残念ながらコロナ禍の影響もうけ、肝心要の記念碑への工程表ができていません。今後、あの手この手を使って、市民へアピールし協力・訴えをしていく予定です。ご参加の皆様のお知恵をお貸しくださるようお願いいたします。

最近うれしかったのはテルさん一家が重慶からハルビンへの途中、奉天に半年ほど住んでいた長谷川兼太郎医師宅で生活しているとき、中国人という触れ込みであったテルさんが茶殻を撒いて掃除をするのを見た奥さんが「もしかして日本人ではないのか」といぶかったというくだりでした。(利根光一さん著書にも載っていたのですが)その姿がかわいらしくほほえましくテルさんを身近に感じられた瞬間でした。

もう一つ、あるエスペランチストからテルさんの著書“EN CINIO BATALANTA”の読書会に誘われたことです。

世の中は、米中のにらみ合いの中であっても、世界の平和を願う人々や国々の努力で核兵器禁止条約が1月に発効されるどころまで来ました。私たちは、長谷川テルさんに学び、ありったけの力で呼びかけ、日本政府に条約に加わり、被爆国として、また平和憲法を持つ国として、核廃絶に向け世界平和の先頭に立つことを要請したいと考えます。

11月の奈良はお天気さえよければ紅葉やコスモスの見頃を迎えています。第2部での般若寺までのドライブと拝観・観光をおたのしみくださいませ。

では、報告・提案へのご討議よろしく願いいたします。

第2回 奈良・長谷川テル顕彰の会総会への報告と提案

2020年11月8日

奈良・長谷川テル顕彰の会
事務局長 田辺 実

奈良・長谷川テル顕彰の会（以下「テル顕彰の会」）第2回総会を開催するにあたって、以下報告と提案をいたします。

I 長谷川テル顕彰事業推進の意義と訴え

一 日本と中国両国民の真の友好・交流の重要な架け橋として―

エスペランティストとして抗日反戦を訴え続けた長谷川テルの事績を調査・研究・顕彰することは、テルの思想を学び、今日の運動に生かし、語り継ぐとともに、市民レベルの真の日中友好・親善を推進することに大きく寄与するでしょう。この取り組みは、日中不再戦の誓いを固め、北東アジアの平和の確立の運動に貢献すると確信いたします。

テルが日本人女性として中国に渡り、抗日反戦を訴え続けたことは、輝かしい史実であり、日本と中国両国民の真の友好・交流の重要な架け橋であると考えます。中国・佳木斯市では、「国際主義戦士」として墓碑が建立され手厚く葬られており、佳木斯市立博物館などでテルの展示コーナーも設置され事績は顕彰されています。また、緑川英子として、北京、哈爾濱など縁の各地でも顕彰されています。

日本でも、テルは、エスペラント協会、日中友好協会、奈良女子大学卒業生有志らによって顕彰されてきました。また、奈良県においてもこれまでも様々な人によってテルの事績の調査・研究は行われ語り継がれてきました。テル顕彰の会は、国内外ですすめられてきた顕彰事業の成果に学び引き継ぐ立場で、テルが学んだ学舎の所在県で顕彰事業をすすめる、その一環として、1932年4月30日、友人と般若寺を訪問し、抑圧的・閉塞的な社会のありようと闘うことを誓いあった般若寺境内にその記念碑を建立させていただく計画を立て実現に踏み出すものです。

前述のように中国では、すでに各所に顕彰施設が設置されていますが、般若寺境内にテルの記念碑が実現すればテルの祖国日本において最初のものとなると思います。それは、テルの顕彰事業の大きな拠点が確立されるとともに、当時の治安維持法下の厳しい暗黒政治のもとでも、平和と国民主権のためにたたかった先人たちの闘いを想起する縁となると確信します。

私たちテル顕彰の会は、全国のみなさんに般若寺境内への長谷川テルの記念碑建立計画の実現に物心両面のご支援をお願いいたします。

II 運動方針の基本（会則案に示した骨子の具体化）

テル顕彰の会の目的を達成するために次の事業を推進する。

i) 資料の収集に努力し、調査・研究を進める。

長谷川テルの顕彰事業は、日中不再戦、北東アジアにおける平和構築の国際的な取り組みの一環である。そうした意味で、長谷川テルに直接かかわる文献・資料だけでな

く、日中友好や、韓国・朝鮮などアジア諸国との市民交流にかかわる文献・資料の確保、研究も可能な範囲で努力する。この取り組みで入手・確保する資料・文献等は、ヴェルダ・マーヨ通信に適宜反映するなど、会員に提供する。

ii) 般若寺境内に記念碑と説明板を設置する。

碑文は日本語で簡潔なものとする。説明板は、日本語、中国語、エスペラントで併記する。(文案は、第2回総会案内に添付する)

第2回総会を機に、記念碑と説明板設置のための費用を確保するために広く募金を訴える取り組みを進める。

第2回総会を記念して作成した「しおり」を台に、将来顕彰事業推進のための冊子を作成する。また、簡易なパンフレットを作成する。

iii) 「日中不再戦・長谷川テル顕彰の旅」など、中国や国内の長谷川テルの足跡をたどる旅を企画・実行する。

長谷川テルマップを作成する。

iv) 学習会、映画上映会、合唱曲の発表会などを順次実行する。

v) 全国各地で進められる長谷川テルの顕彰活動と協力・共同して調査・研究をすすめ顕彰事業を進める。

長谷川テル顕彰事業を系統的に進めてきたエスペランチスト、エスペラント協会(連盟)とのコンタクトを重視する。

III 「記念碑」と「説明板」建立めざし募金を訴える

長谷川テルの般若寺境内での「記念碑」と「説明板」の建立は、実現すればテルの祖国日本で最初のものとなるでしょう。また、長谷川テルの顕彰事業の重要な拠点となるでしょう。

般若寺住職のご厚意で設置場所は提供していただけることになっています。大変恵まれた条件です。

「記念碑」「説明板」の文言など企画全体と予算額が総会で確認されれば、石材店と看板業者との交渉を煮詰め、契約を交わし実行に移すことになります。実行委員会としては、業者との予備交渉で、総額200万円確保できれば、その名にふさわしいものが建立できると判断しました。

新たに顕彰の会の口座をつくり、振り込み用紙も作り広く募金を訴えます。募金を訴えやすくするためビラ・パンフレットも作成します。

基本方針が確定した段階で「記念碑」と「説明板」の暫定的なイラストを作り、いつまでに建立するのロードマップを作り、目標にむかってさまざまな機会に訴えていきます。

また、デザインについては専門家に依頼することも検討します。

奈良・長谷川テル顕彰の会会則

2020年11月8日

1 会の名称及び会員

本会の名称を「奈良・長谷川テル顕彰の会」と称する。（以下「顕彰の会」）とする。
会の目的に賛同し会費を納入する人を会員とする。

2 会の目的

奈良女子高等師範学校に学び、1932年9月、治安維持法によって検挙され、同校を退学させられたが、エスペランティストとして抗日反戦を訴え続けた長谷川テルの事績を調査・研究・顕彰し、市民レベルの日中友好・親善事業を推進する。

3 会の主な事業

会の目的を達成するために次の事業を推進する。

- i) 資料の収集に努力し、調査・研究を進める。
- ii) 般若寺境内に記念碑と説明板を設置する。碑文は日本語で簡潔なものとする。説明板は、日本語、中国語、エスペラントで併記する。
- iii) 「日中不再戦・長谷川テル顕彰の旅」など、中国や国内の長谷川テルの足跡をたどる旅を企画・実行する。
- iv) 学習会、映画上映会、合唱曲の発表会などを順次実行する。
- v) 全国各地で進められる長谷川テルの顕彰活動と協力・共同して調査・研究をすすめ顕彰事業を進める。

4 会の総会、役員、事務局

年に一回総会を開き、取り組みを総括し新年度の方針を決定する。

会の運営を図るため、推進委員会を置き、会長、事務局長、会計、会計監査を選任する。

推進委員会のもとに事務局を置き日常の業務を執行する。

事務局は、事務局長宅に設置する。

5 会の会計

会の会計は、会員が納入する会費（年会費2,000円）と募金によって賄う。会計年度は1月1日～12月31日とする。

6 付則

その他、会の運営に必要な事項は推進委員会で決める。

会則制定日 2018年6月9日。

一部改正 2020年11月8日。

以上

会の事務局

〒630-8442 奈良市北永井町277-3

田辺 実宅 (☎/ F 0742-61-7194)

Email: tanabe66@amber.plala.or.jp

第2回奈良・長谷川テル顕彰の会総会に 寄せられたメッセージ（敬称略）

2020年11月8日

奈良・長谷川テル顕彰の会

第2回奈良・長谷川テル顕彰の会総会に、多くの皆さんが心のこもったメッセージを寄せていただき感謝にたえません。示唆に富んだ内容で、また私たちの顕彰活動に大きな励ましをいただきました。順不同ですが、全国からと奈良県内に分けて記させていただきます。

全国から寄せられたメッセージ

井口和子（湖山）（京都府）

学生時代、自分の生き方を大きく方向づけた奈良、そして60年経ってまた新しい世界を広げてくれた奈良、私にとって奈良と奈良の方々は、まるで家族のように思います。

平松悦雄（大阪府）

総会おめでとうございます。大阪に於いても奈良をしっかり見習い活動・運動を行いたいです！

大谷泰子（和歌山県）

当日、残念ながら参加できません。よろしくお願いします。

澤田和也（大阪府）

長谷川テルの顕彰を全国に広めていきましょう。

堀泰雄（群馬県）

日本軍が重慶に行った爆撃については、日本人はほとんど知らないのではないのでしょうか。ウイキペディアや「重慶爆撃とは何だったのか」（高文研）など、資料や本はありますが、長谷川テルが報告した重慶爆撃は真に迫っています。戦争犯罪を隠ぺいして存在しないことにしようとする勢力が台頭している中、日中戦争の真実を語るテルの業績は、今にこそ生かすべきだと思います。顕彰運動の成功を祈ります。

中塚明（京都府）

長谷川テルも出かけたでしょう般若寺に記念碑が立つことは素晴らしいことです。ご成功を祈念しています。

斎藤敏康（京都府）

古刹般若寺に長谷川テルの記念碑を立てようとする貴会の活動を尊いものと思います。日中の平和と友好を願う両国の市民にとって心の拠り所となるでしょう。

寺島俊穂（大阪府）

長谷川テルの思想形成を知るうえで、テルが奈良女子高等師範学校在学中に同級生らと文化サークルをつくってエスペラントを学び始めた1932年前後の交友関係や時代の状況を解明することは重要であり、未公開資料の発掘など、奈良での地道な調査・研究に期待しています。

黒田貴子（東京都）

皆様お世話様です。中学校講師も今年度で終わりますが、長谷川テルのことを授業で取りあげました。ケイ・シュガーさんの歌を流したら、サビの所を生徒たちが一緒に歌ってくれました。心に残ってほしいと願っています。

大類義啓（東京都）

今こそ、国境を越えた反戦平和の精神を高くかけ、実践した長谷川テルの心意気、その情熱を多くの人に知って欲しいです。

今こそ、テルの精神と行動を学ぼう！

大類 善啓

第二次世界大戦で多くの死者を生みだし、惨禍をもたらしたにも関わらず、それから75年、世界各地で＜自国ファースト＞という名のナショナリズムが台頭し、ヘイトスピーチがはびこり人種差別が横行しています。もちろん、それに対する闘いも起こっていますが、大戦直後、このような時代状況が招来すると思った人は多くはないでしょう。

時代が変われば人々も変わり、マスメディアも変質していくのです。このような状況の中、長谷川テルの精神と行動は今こそ、多くの人々が振り返る価値があると思います。

15年戦争が進行する状況下、進歩的だと言われた社会主義者を自称した著名な知識人も時流に乗るかのように変節していきました。残念ながらエスペラント界も時の支配層に迎合しました。

1937年7月、日本陸軍は華北を総攻撃し、8月には海軍が上海で中国軍を攻撃し、当時の首都・南京も攻撃しました。そのような中、テルは中国から公開の手紙を日本のエスペランティストに送りました。

「みなさん、自分がどんな民族に属しようとして、人間らしい心、明晰な理性をもって人ならば、必ず中国に同情するでしょう。（中略）

お望みならば、どうぞ私を売国奴と呼んでくださっても結構です。私はこれっぽっちも恐れはしません。むしろ、私は他民族の国土を侵略するばかりか、なんの罪もない無力な難民の上に、この世の地獄を現出させて平然としている人々と同じ民族のひとりであることを恥とします。ほんとうの愛国主義は、人類の進化とけっして対立するものではありません。でなければ、それは排外主義なのです」

そしてこう書きました。

「この戦争に中国が勝利することは、たんに中国民族の勝利を意味するだけでなく、日本を含むすべての極東の被圧迫民族の勝利を意味するのです」

テルは、ザメンホフが言うところの人類主義、Homaranismoを文字通り実践した稀有な人と言えるでしょう。今こそ、長谷川テルの精神と行動力を多くの人たちに知ってほしいと思います。

（おおるい・よしひろ：方正友好交流の会理事長）

小林徳子（大阪府）

総会のご盛會を祈ります。私も90歳を越え歩くことが困難になりました。あとをよろしく願いいたします。

岡野 正(北海道)

まことに残念ですが出席できません。ご盛會を心よりお祈りもうしあげます。

正田幸子（埼玉県）

土庫病院理事長、稲次直樹先生のご紹介で、私にもご案内下さったのだと思います。私、奈良女昭和30年卒からしても、長谷川テル様は大先輩でいらっしゃいますし、ご尊敬も致しておりますが、何分にも少し遠いので伺えませぬ。ご盛會を祈っております。

柳町敬直（東京都）

私などにご案内をいただき恐縮しております。ぜひ一度はとおもいつつも、やはりまだコロナが鎮静化するまでは、出歩けないでおります。

尾川理江（大阪府）

この日は日曜日であいにく仕事が入っており出席できません。ご盛會をお祈りしております。般若寺には一度行ってみたかったのですが残念です。

土井智江子（神奈川県）

お伺いしたいのですが、こんな時代ですので、出歩くのは控えています。碑文の訳はメールで送ります。建立の時は、事態が変わってしまいましたら・・・。

（「記念碑」及び「説明板」のエスペラント訳を送っていただきました。末尾に掲載しました。）

内藤明子（京都府）

般若寺は懐かしい散歩の場所の一つです。不思議な魅力を持った境内でした。長戸姉についても簡単な紹介が欲しいです。出かけることはできませんが、応援いたします。

富田林エスペラント会 藤井由美子（大阪府）

長谷川テル顕彰の会の皆様

長谷川テルの記念碑が歴史ある般若寺に建立されるとお知らせをいただき、心よりうれしく思っております。ここに至るまでの皆様の並々ならぬご尽力と責任感の賜物だと、深く敬意と感謝を申し上げます。

エスペランチスト長谷川テルが般若寺で友と熱い決意を誓ったこと、弾圧をうけ中国に渡り血のにじむような抗日反戦に一生を捧げたこと、志なかばでこの世を去ったことは、記念碑建立で永遠に後世の人々の心に残り、歴史の1ページを飾ることでしょう。

顕彰の会の皆様には第二回日韓エスペラント大会（2018・10・12-14）で多大なご協力をいただきました。改めてお礼申し上げます。大会では「長谷川テル顕彰の会との交流会」を設け、部屋に入りきれないほどの参加者がありました。テルの生きように感銘し、弾圧を受けた奈良の地で少しでもテルを知りたい、テルの呼吸を感じたい、近づきたいとの強い思いからだと思ひます。

テルがエスペランチストとして、また日本国民として抗日反戦に捧げた功績を誇りに
思います。

一般財団法人日本エスペラント協会

Verda Majo(ヴェルダ・マーヨ。意味は「緑の五月」)の名で、日中友好のため身を
賭して反戦を訴えた長谷川テル氏の平和への熱い思いと勇気は、国内外のエスペランテ
ィストたちの間で尊敬の念を持って語り継がれています。エスペラントが日本と中国の
みならず、世界中の異なる民族や国民の「平和の架け橋」となることを願って、次世代
に継承される活動をこれからも続けていきたいと思ひます。

追伸 碑が建立されましたら、そのことを当協会の会員へも会誌でお知らせしたいの
で、ぜひご一報ください。

一般財団法人日本エスペラント協会
理事長 北川郁子

沢田 博(東京都)

第2回奈良・長谷川テル顕彰の会総会のご盛会をお祝いたします。

今、学術会議問題にみられるように、早くも正体を露わにした菅政権の強権・ファッ
ション政治を絶対に許さず、平和と「学問の自由」を守る一大国民運動が求められていま
す。

長谷川テル氏を記憶し、顕彰する取り組みは静かだが、平和を願う県民の誇れる運動
と思ひます。私のできることは限られていますが、皆さんと思ひを共有して、この運動
と事業の成功を祈念します。

奈良県内のみなさんからのメッセージ

田中澄江(奈良市)

長谷川テルの顕彰の会 第二回総会を開けることを皆さんとともに喜び合いたいと思
ひます。テルの顕彰を通じて色々な人の声が増えてきて運動が着実に進んでいることの
証となっています。戦時下でのアジア諸国における日本の加害事象を明らかにし、二度
と戦争しない国にしたい。その輪が広がる事こそ顕彰の最大の意義だと思ひます。

溝川悠介(生駒市)

般若寺に長谷川テル顕彰碑が建立され、いつまでもテルさんの輝かしい事績を伝えら
えることはすばらしい事ですね。

福嶋繁男(葛城市) 長谷川テル顕彰碑の創立に向け、日中の友好と平和を求めて力を尽
くしていきたく思ひます。

森川美貴子(奈良市) ご一緒に中国に行かせてもらってあっという間に時が流れていま
す。皆さんおげんきでしょうか。

子安美砂子(奈良市) 長谷川テルさんの事、余り把握しておりませんので、より近づい
て理解させていただきたく思ひます。

杉浦政子（奈良市）

家族を見守り介護のため、当日参加ができません。ご案内ありがとうございました。

西久美子（葛城市）

顕彰碑建立が一日も早く実現し、多くの人に見てもらえる日が来ることを切望します。

平井富勝（橿原市）

長谷川テルの歌「ヴェルダ・マーヨ」を合唱して長谷川テルを広めています。

田辺実（奈良市）

長谷川テルの顕彰事業推進を志してから4年、多くの方の賛同を得ていよいよ記念碑建立を具体化できることをうれしく思います。実現めざし、さらに輪を広げるために力を合わせて進みましょう。

有本秀子（大和郡山市）

「長谷川テル顕彰事業に心を寄せていただいている皆さん」という呼びかけの言葉に動かされ参加させていただきます。

大谷康子 当日、残念ながら参加できません。よろしく願いいたします。

上田友彦（大和郡山市）

体調不良のため失礼いたします。少しですが、カンパさせていただきます。

吉住久子（大和高田市）

ご招待いただきありがとうございます。当日は、所用のため欠席させていただきます。会の盛会をお祈りしております。

稲次直樹（生駒市）

長谷川テルさんの顕彰事業を推し進め、東北アジアに平和な未来を築きたい。

在賀知子（生駒市）

総会の盛会をお祈りいたします。当日は、以前からの所用があり、出席できず申し訳ございません。

吉田佑子（奈良市）

有意義で着実な取り組みに心より敬意を表します。

伊藤恵美子（奈良市）

テルさんが奈良の地に刻まれた足跡を一步一步踏みしめながら、平和への道を繋いでいきたいと思います。

三村純子（大和郡山市）

般若寺にまた一つの宝物がふえてとても嬉しいです。記念碑が出来たらぜひ訪れてみたいと思っています。

水谷奈美（奈良市） 勇気を持った一人の女性として生き抜かれた方の知恵や意志がどのように育てられたかを知りたい。

馬場俊子（奈良市） 総会への参加、楽しみにしています。

松本節子（天理市） 記念すべき長谷川テルさんの顕彰の会総会に出席して勉強させていただきます。

碑文(案) Epigrafo (plano)

Monumento Memore al la Vizito de Hasegaŭa Teru

En la 30a de aprilo 1932, Hasegaŭa Teru kun la amikino vizitis la templon Han'nja-ĵi, en kies teritorio ili ĵuris batali kontraŭ la socio subprema kaj blokema.

Klarigo pri la teksto sur la monumento:



長谷川テル (1912~1947)

Hasegaŭa Teru (Midorikaŭa Eiko, Verda Majo laŭ la nomo en Ĉinio)

1912-1947

< Kune kun la kamaradoj, mi per plena voĉo alvokas japanajn fratojn:

- Ne misverŝu la sangon, via malamiko ne estas ĉi tie trans la maro.>

el "La amo kaj la malamo" verkita de Hasegaŭa Teru

(el *Ĉinio Hurlas*, en aŭgusto 1937)

Naskita en 1912 en la gubernio Jamanaŝi; en 1929, kiam ŝi estis 17-jara, ŝi eniris en Porvirinan Pedagogian Superan Kolegion de Nara (nun, Porvirina Universitato de Nara).

La 30an de aprilo 1932, ŝi kun la amikino vizitis la templon Han'nja-ĵi, kie ili inter si ĵuris ekstari kontraŭ la stato subprema kaj sinfermema. Serĉante la vojon kiel vivi, ili ekkonis Esperanton kaj komencis havi kontakton kun la movado de laboristoj kaj terkulturistoj. En septembro de la jaro ili estis arestitaj pro suspekto de la sinteno kontraŭ la Leĝo por la Publika Ordo. Ili estis forpelitaj de la kolegio. Post tio ŝi klopodis ellerni Esperanton. Tra la movado ŝi konatiĝis kun Liu Ren, studento el Ĉinio, kaj edziniĝis al li en 1936. En 1937 ili iris al Ĉinio kaj okupiĝis pri la movado kontraŭ Japanio. En la batalado ŝi laboris pri radio-elsendado, per kiu ŝi alvokis al la japanaj soldatoj batalantaj en Ĉinio, eĉ 218 fojojn. Ŝi informis la aferojn ne nur en Ĉinio, sed ankaŭ al la mondo.

Ŝi mortis en januaro 1947 en la urbo Ĵamuŝi. Tuj poste ankaŭ ŝia edzo Liu Ren mortis. Post la Ratifiko de La Centra Registaro de Ĉinio, La Popola Registaro de Ĵamuŝi konstruis la monumenton honore al Teru kaj Liu Ren, per kiu la Centra Registaro manifestacias.

奈良女子大学を卒業された土居智江子(エスペランチスト 横浜市)さんに翻訳していただいた。

第2回総会で、田辺実事務局長が行った「討論のまとめ」の要旨を紹介します。

討論のまとめ（要旨）



本第2回総会には、30名の方に参加していただきました。また、多くの方からメッセージを寄せていただきました。出席された皆さん、メッセージを寄せていただいた皆さんに心からお礼を申し上げます。時間の制約がなければ、ご出席のすべての皆さんに発言していただきたかったです。

7名の方に来賓あいさつ、そして発言をしていただきました。それぞれ貴重なご挨拶、ご発言をいただきありがとうございました。

寄せられたメッセージは、皆さんのご挨拶ご発言を含め、心のこもった内容で、今後私たちが顕彰事業を進めるうえで示唆に富んだものです。これらを踏まえて、また励みにして顕彰活動を進めたいと思います。

私たちは、今回の第2回総会に向けて「しおり」を編纂いたしました。大変内容の充実したものとなったと自負しています。すべて大事な内容ですが、「記念碑」「説明板」を建立させていただき般若寺の住職工藤良任師のあいさつは、長谷川テルと般若寺との所縁を含め、般若寺の歴史を説明された非常に貴重な内容となっています。この場ではありますが、こうした貴重な文章を寄せていただいた工藤良任師に心からお礼を申し上げます。

また、「しおり」には、長谷川テルの「記念碑」「説明板」を設置させていただき根拠を示す資料を掲載してあります。般若寺を一緒に訪問したことを書き残した長戸恭さんの手記が決め手となっています。併せて、長谷川テルが奈良女子高等師範学校を退学させられた当時のマスコミの報道の記事がそれです。これは、地元奈良県の私たちが、奈良県立図書情報館のマイクロフィルムを検索し、発掘したものです。長谷川テルが治安維持法で弾圧された舞台となった奈良県の私たちの重要な貢献だと自負しています。

先ほど溝川悠介氏が、お父さんが治安維持法犠牲者であることについて触れつつ、菅政権の日本学術会議の6名の任命拒否を厳しく批判する発言をされました。菅政権によるこのような野蛮な態度を絶対に許してはなりません。

長谷川テルは、治安維持法下、抑圧的で閉塞的な社会のありようと闘うことを誓って生涯を貫かれたのですが、そうした事態の再来を許さないためにも、長谷川テルの思想と闘いに学び私たちの運動を進めたいと思います。

結びにあたって、私たちの第2回長谷川テル顕彰の会への「報告と提案」、「会計報告」と「会計監査報告」に賛成し、ご承認をお願いしてまとめとさせていただきます。

第2回奈良・長谷川テル顕彰の会総会報告集

奈良・長谷川テル顕彰の会推進委員会事務局

2020年11月30日

〒630-8442 奈良市北永井超277-3

田辺 実方

電話/F 0742-61-7194

Email:tanabe66@amber.plala.or.jp